

さやか星小学校の開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 さやか星小学校  
校長 青木 高光
- 2 位置 佐久市入澤 1 5 2 - 1
- 3 設置者 学校法人西軽井沢学園  
理事長 奥田 健次
- 4 学則定員 198 人
- 5 開校年月日 令和 6 年 4 月 1 日

1 児童数の状況（5月1日時点）

(単位：人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	申請時計画	定員
R6									
R7									
うち新入生									
(応募者数)									
県外出身者									

- ・本校への入学を検討している保護者向けの教育講演会・学校説明会を年4回（東京2回、群馬1回、佐久市1回）開催し、合わせて保護者向けおよび教育関係者向けに2度の学校公開日进行、認知度向上を図った。
- ・受験日を2回設定しており、1回目の受験日における来年度入学予定者数は想定より少なかったが、上記の学校説明会等のイベントには再来年度の入学を考えている保護者の参加も多かったため、引き続き積極的に児童募集活動を展開していく。

2 教職員の状況（11月末日時点）

(単位：人)

		校長	副校長	教諭	養護教諭	事務職員等	その他	合計
計画	計	1	1	5	1	1	1	10
	専任	1	1	5	1	1	0	9
	兼任	0	0	0	0	0	1	1
R7	計	1		4	1	1	2	9
	専任	1	0	4	1	0	1	7
	兼任	0	1	0	0	1	1	3
差	計	0		▲1	0	0		▲1
	専任	0	▲1	▲1	0	▲1	1	▲2
	兼任	0	1	0	0	1	0	2

- ・専任の教諭は1減となっているが、県教育委員会からの教員の出向があり、充足している。
- ・新たな支援員の補充等により、行動分析学や特別支援教育などの専門性を持つ教職員による協働体制が整ってきた。
- ・来年度に向けては、新たに正規職員3名、支援員1名の補充が決定しており、より安定した指導体制が期待できる状況にある。
- ・今後の課題として、教員の業務負担軽減と若手教員育成が挙げられる。新規教員が必要に応じて学べるよう、オンデマンド研修コンテンツの充実を進めている。

### 3 教育の特徴等

- ・行動分析学に基づくインクルーシブ教育と ICT を活用した個別最適化学習の実践がさらに充実したようになるよう、改善を進めている。
- ・今年度から、学年を超えて個別最適な学びを実現するために、全学年が同じ場所で個々に合わせた課題に取り組める「ユニコレ」方式を導入し、子ども一人ひとりの到達度に応じた柔軟な学習展開を目指して取り組んでいる。
- ・状況の説明が苦手な児童でも、困ったことや悩んでいることを、タブレットで簡単に報告できる「安心安全アンケート」を導入し、児童の安心感の向上に寄与している。
- ・EPSON 社と教材作成及び学習支援システムの共同開発研究を行っている。主な内容は、個別課題の自動生成機能や、生成された課題の正誤判定と自動採点機能など。校内での教育活動に大きく役立っているだけでなく、今後、学会や研修会等で成果報告が行える段階に入りつつある。
- ・今後は、行動分析学と ICT 活用を核とした個別最適な学習をさらに深化させ、児童の自ら学ぶ力を育む教育を推進していくとともに、職員研修の体系化、適切な施設改修の実行、地域連携型の教育プログラムの展開などを通して、発展を続ける学校運営を目指す。

### 4 収支決算